

【靴紐の通し方】

【オーバーラップ】

オーバーラップとは、アイレット（穴・鳩目）の上から下に靴紐を通す方法です。
緩みにくく、締りがよいので、スニーカーやスポーツシューズによく使われる方法です。
甲の低い人にもおすすめです。



1. 1段目の穴に上から通し、ひもの左右の長さを揃えます。

※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。



2. 2段目の穴に、上から下に通します。



3. 左右の紐のクロスする順番に気をつけながら、2と同じ要領で上まで通します。



4. クロスする順番を揃えて通すと、見た目が綺麗になります。



5. 5段目の穴だけ、下から紐を通します。紐を結いて完成です。

【アンダーラップ】

アンダーラップとは、アイレット（穴・鳩目）の下から上に靴紐を通す方法です。

履いている内に足に適度になじみ、圧迫感が少ないのが特徴で、スニーカーやスポーツシューズによく使われる方法です。甲の高い人にもおすすめです。



1. 1段目の穴に下から通し、ひもの左右の長さを揃えます。

※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。



2. 2段目の穴に、下から上に通します。



3. 左右の紐のクロスする順番に気をつけながら、2と同じ要領で上まで通します。



4. クロスする順番を揃えて通すと、見た目が綺麗になります。



5. 5段目の穴も、下から紐を通します。紐を結いて完成です。

【パラレル】

パラレルとは、ドレスシューズの最も一般的な結び方で、水平ラインのスッキリとした見た目が特徴です。別の呼び名でストレートとも言います。左右均一に圧力がかかるため、緩みにくく、また締めりも良いです。



1. 1段目の穴に上から通し、ひもの左右の長さを揃えます。

※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。



2. 片方を2段目の下から上に通します。



3. もう片方は、一段飛ばして3段目の穴の下から通します。



4. 2段目の下から通したヒモを、水平に反対側の2段目に上から下に通します。



5. 2段目の上から通したヒモを、反対側の4段目の下から上に通します。



6. 3段目の下から通した紐を、水平に反対側の3段目の上から下に通します。



7. 3段目の上から下に通した紐を、反対側の5段目の下から上に通します。

	8. 4段目の下から上に通した紐を、水平に反対側の4段目の上から下に通します。
	9. 4段目の上から下に通した紐を、反対側の5段目の下から上に通します。紐を結いて完成です。

【シングル】

シングルとは、パラレルと同じく、水平ラインのスッキリとした見た目が特徴です。靴の表面に靴紐の厚みが最も出ない通し方で、内羽根の靴などに向いています。圧力が片方に偏るので緩めやすいです。

	1. 1段目の穴に上から通し、ひもの左右の長さを揃えます。 ※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。
---	---



2. 片方の紐を5段目の穴の下から上に通します。

※この時点でこの紐の長さを完成時の結く分に調節して下さい。



3. もう片方の紐を、2段目の下から上に通します。



4. 2段目の下から上に通した紐を水平に反対側の上から下へ通します。



5. 2段目の上から下へ通した紐を反対側の3段目の下から通します。



6. 3段目の下から上に通した紐を水平に反対側の上から下へ通します。



7. 3段目の上から下へ通した紐を反対側の4段目の下から上に通します。



8. 4段目の下から上に通した紐を水平に反対側の上から下へ通します。



9. 4段目の上から下へ通した紐を反対側の5段目の下から上に通します。
紐を結いて完成です。

【オーバーアンダー】

オーバーアンダーとは、アイレット（穴・鳩目）の上から下に（オーバー）と下から上に（アンダー）を交互に繰り返す方法です。



1. 1段目の穴に上から通し、ひもの左右の長さを揃えます。

2段目の穴に、下から上に通します。（アンダー）

※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。



2. 3段目の穴に、上から下に通します。（オーバー）



3. 4段目の穴に、下から上に通します。（アンダー）

※アイレットの数に合わせてオーバー・アンダーと交差に紐を通していきます。



4. 最後の段は下から上へ通します。
紐を結いて完成です。

【ボータイ】

ボータイとは、下側の紐の交差をせず垂直に進むことで、表面のクロスをスッキリ見せる方法です。

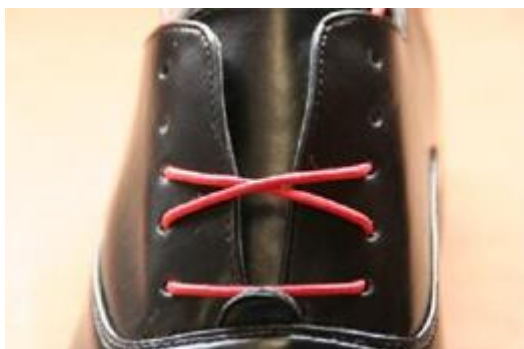


1. 1段目の穴に上から通し、ひもの左右の長さを揃えます。

※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。



2. 紐を交差させず、垂直に2段目の穴に、下から上に通します。



3. 紐をクロスさせ、3段目の穴に上から下へ通します。



4. 紐を交差させず、垂直に4段目の穴に、下から上に通します。



5. 最後の穴は、下から紐を通します。
紐を結いて完成です。

【オーバーノット】

紐が交差する際に横に1ひねりをする結び方です。紐で個性を出したい時におすすめです。



1. 1段目の穴に下から通し、ひもの左右の長さを揃えます。

※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。



2. 左右の紐が交差する時に、横に一回ひねります。



3. 2段目の上から下に紐を通します。



4. 下で交差させ、それぞれ3段目の下からヒモを通します。



5. 左右の紐が交差する時に、横に一回ひねります。



6. 4段目の上から下に紐を通します。



7. 5段目の下から上に紐を通します。
紐を結いて完成です。
※通常より少し長めのヒモをご使用下さい。

【ハッシュ】

ハッシュとは、紐を網状に通していく方法で、少しカジュアル感が出て、ファッション性が高くなります。



1. 1段目の穴に下から通し、ひもの左右の長さを揃えます。

※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。



2. 1段飛ばし、反対側の3段目に上から下へ通します。



3. 紐を交差させず、垂直に2段目の穴に、下から上に通します。



4. 1段飛ばし、反対側の4段目の上から下へ通します。



5. 最後は紐を交差させ、下から上へ通します。



6. 紐を結いて完成です。

【ループバック】

ループバックとは、紐を交差させながらアイレット（穴）に通していくという少し変わった結び方です。普段と少し違う結び方で靴の表情を変えたい時などにおすすめです。



1. 1段目の穴に下から通し、ひもの左右の長さを揃えます。

※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。



2. 紐を一度交差させます。



3. クロスさせた紐を、2段目の下から上へ通します。

	4. 行程2と同じ要領で紐を一度交差させます。
	5. クロスさせた紐を、2段目の下から上へ通します。これを繰り返します。

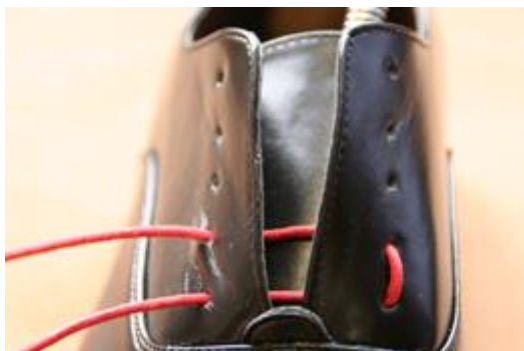
【トレイントラック】

トレイントラックとは、まるで電車の線路のような仕上がりになる少し変わった結び方です。普段と少し違う結び方で靴の表情を変えたい時などにおすすめです。

	1. 1段目の穴に下から通し、ひもの左右の長さを揃えます。 ※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。
---	---



2. 片方の紐を1段上の穴の上から下へ通します。



3. 2段目の下へ通した紐を、反対側の2段目の下から上へ通します。



4. 反対側の紐も同じ要領で2段目の上から下へ通します。
※ひとつの穴に紐を2回通すので、靴によってはキツくて入らない場合もあります。



5. 左右の紐の、2段目まで通した状態です。これを繰り返します。



6. 左右の紐をそれぞれ1段上の穴の上から下へ通します。



7. 左右平行にクロスし、それぞれ3段目の下から上へ通します。



8. 最後のアイレットまで紐を通したら、紐を結いて完成です。





【ダブルサイド】

ダブルサイドとは、2色の靴ヒモを使う個性的なアレンジ方法です。色の組み合わせで靴の表情を変えられます。



1. 2色の紐を、1段目の穴に下から通し、ひもの左右の長さを揃えます。

※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。



2. 紐を一度交差させ、2段目の下から上へ通します。

	3. クロスさせた紐を、3段目の下から上へ通します。
	4. 行程2と同じ要領でこれを繰り返します。
	5. 最後のアイレットまで紐を通したら、紐を結いて完成です。

【ジッパー】

ジッパーを開いた時のような面白い編み方です。少しカジュアル感が出て、ファッション性が高くなります。



1. 1段目の穴に下から通し、ひもの左右の長さを揃えます。

※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。



2. 1段目の紐の下に紐をくぐらせ交差させます。



3. 交差させた紐を、2段目の下から上へ通します。



4. 2段目の穴に入れる前に交差した部分に、それぞれ下からくぐらせます。



5. 少しややこしいですが、右の紐は右の紐の下をくぐってから次の穴へ。
左の紐は左の紐の下をくぐってから次の穴へ通します。



6. ジッパーが開いたような編み方になっていきます。



7. 同様にして、上の段まで進めていきます。



8. 紐を結いて完成です。

【スティック】

斜めに 1 本入るヒモがまるでスティックのような、一風変わった結び方です。ドレスのちょっとした遊び心にいかがでしょうか。



1. 1 段目の穴に下から通し、ひもの左右の長さを揃えます。

※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。



2. 1 段目の片方の紐を、反対側の 4 段目の上から下へ通します。



3. もう片方の紐を、反対側の 2 段目の上から下へ通します。



4. 手順3で通した紐を、垂直にひとつ上の段の下から上へ通します。



5. 手順4で通した紐を、反対側の2段目の上から下へ通します。



6. 手順5で通した紐を、垂直にひとつ上の段の下から上へ通します。



7. 手順6で通した紐を、反対側の4段目の上から下へ通します。



8.最後のアイレットにそれぞれ垂直に上がり、下から上へ通します。



9. 紐を結いて完成です。

【ローマ字】

ローマ字結びとは、クロスと直線を組み合わせた結び方で、まるでローマ数字のように見える少し変わった結び方です。



1. 5段目の穴に下から通し、反対側の4段目の上から下へ通します。

※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。



2. 4段目の上から下へ通した紐を、縦に一段下の、3段目の下から上へ通します。



3. 3段目の下から上へ通した紐を、平行に反対側の3段目の、上から下へ通します。



4. 3で通した紐を、縦に2段下の、1段目の下から上へ通します。



5. 1段目の紐を、反対の1段上の、2段目の上から下へ通します。



6. 2段目の上から下へ通した紐を、縦に1段下の、1段目の下から上へ通します。



7. 1段目の下から上へ通した紐を、反対側の1段上、2段目の上から下へ通します。



8. 2段目の上から下へ通した紐を、縦に2段上の、4段目の下から上へ通します。



9. 4段目の下から上へ通した紐を、反対側の5段目の上から下へ通します。
紐を結いて完成です。

【ラダー】

ラダー(ladder)とは名前の通り、靴紐を梯子のように通す方法です。靴紐を梯子状にすることで、緩みにくくしっかりと結ぶことができます。カラフルな靴紐でアレンジをお楽しみください。



1. 1. 1段目の穴に下から通し、紐の左右の長さを揃えます。

※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。



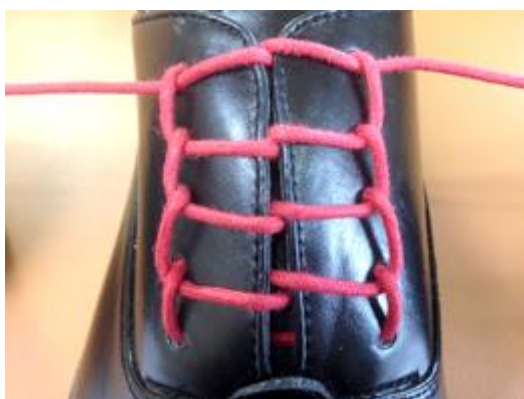
2. 2段目の穴に、紐を垂直に上から下に通し、クロスさせます。



3. クロスさせた紐を1段目と2段目の間に通します。



4. 4段目まで通した状態です。これを繰り返します。



5. 最後まで通したら完成です。



※5段目まで通して、靴のタンの裏側で結んでもすっきりまとまります。

【真ん中結び】

靴紐を上下から通して、結び目を真ん中に持ってくる結び方です。意外にも、ビジネスシューズにも合うんです。ぜひお試しください。



1. 紐の端をトップの右側の穴と、つま先側の左側の穴に、斜めにまっすぐ下から通します。

※つま先から、アイレットを1段目、2段目と呼んで説明致します。



2. 紐の両端をジグザグに下から通していきます。



3. 右真ん中まで続けると写真のようになります。



4. 3最後に、真ん中に結び目をつくりま
す。